



10月の園だより

朝晩の心地よい秋風に、季節の深まりを感じるころとなりました。

9月は運動会などの行事を通じて、お友達と力を合わせることの楽しさや、最後まで諦めずにやり遂げる達成感を味わい、一回りたくましく成長した姿を見せてくれました。10月は気候も良く、体を思い切り動かすのに絶好の季節です。

お散歩やお芋ほりなど、秋ならではの体験を存分に楽しみながら、子ども達の探求心や健康な体づくりに育んでまいります。

季節の変わり目で朝晩の寒暖差が大きい時期でもありますので、体調管理に留意して過ごしていきます。ご家庭でも衣服の調整など、ご協力をよろしくお願いいたします。

10月の予定



7日(水)	ばら組野外保育	22日(木)	うめ組野外保育
9日(金)	運動会準備	23日(金)	誕生会
10日(土)	運動会	28日(水)	内科健診 12:30～
14日(水)	望洋園訪問	30日(金)	さくら組野外保育
14・15(水・木)	発育測定		

親子遠足のお知らせ

11月7日(土)は親子遠足を予定しています。
ご家族そろって、ぜひご参加ください。
詳細は後日お知らせします。

イベントのお知らせ

- ★那珂まつり 10月11日(日)那珂地区公民館・多目的ホール
※さくら組の作品が展示されます。その他楽しい催しもたくさんありますよ！
詳しくは別紙をご覧ください。
- ★佐土原総合文化祭 10月31日(土)・11月1日(日)佐土原総合文化センター
※うめ組とさくら組の作品が展示されます。ぜひお越しください！





祖父母参観（お礼）

先日は、祖父母参観へのご参加、誠にありがとうございました。
未満児クラスの年齢ごとに見せた可愛らしく懸命な姿、そして以上児クラスの異年齢グループで互いに助け合う頼もしい姿に、日頃の成長を感じていただけたことと思います。

子どもたちにとって大好きな祖父母の皆様にたくさんの拍手や笑顔を送っていただけたことは、大きな自信と喜びになりました。お忙しい中足を運んでくださり、本当にありがとうございました。
これからも温かい見守りとご協力をよろしくお願い申し上げます。



第7回目のコラムは♡

～『何をするか』を子ども自身が選ぶ意味～

大人から指示されて動くのではなく、自分の好奇心や「やってみたい」という内発的な動機から始まった活動には、以下のような育ちが詰まっています。

- ★深い集中力（没頭する体験）：自分で選んだことだからこそ、時間を忘れて夢中になれます。
- ★試行錯誤と解決力：「うまくいかないな」「どうやったらできるかな」と自ら考えて工夫する力が生まれます。
- ★自己肯定感と充足感：「自分でできた」「やりきった」という感覚が、自信の根っこを育てます。

ご家庭でも、お子さまが何かに夢中になっている時は、少し離れたところから見守ってみてください。「次はこうしたら？」と手を差し伸べたくなる場面でも、あえて一步引いてお子さまの試行錯誤を見守ることで、子ども自身が「自分でできた！」という達成感を味わうことができます。



子どもたちの「やってみたい！」という小さな芽を、
ご家庭と一緒に大切に育てていきたいと思います。



育児講演会（お礼）

先月は、お忙しい中吉岡伸太郎先生による子育て講演会「これからの学校教育の変化と今後の保育のあり方」にご参加いただき、誠にありがとうございました。

講演後のアンケートでは、「子ども主体の保育の必要性や大切さについて学ぶことができた」「時代に合わせた教育のあり方を知ることができた」「我々大人が日々学習しながら子供の成長を見守る環境をつくっていかねばと感じた」など、たくさんの温かいお声やお気づきを寄せていただき、職員一同大変嬉しく拝読いたしました。

今回の公演でもお話があったように、これからの時代に求められているのは、知識をただ詰め込む「勉強」ではなく、子どもたちが自ら興味を持ち、主体的に試行錯誤しながら深めていく「学び」や「知的好奇心」です。

当園におきましても、お子さま一人ひとりの「知的好奇心」と「自ら学ぶ力」を育めるよう、日々の保育や環境づくりに一層努めてまいります。ご家庭と園とで手を取り合い、子ども達の輝く未来と健やかな成長を共に見守っていただければ幸いです。

講演会の中で【知的好奇心を高める7つの方法】についてお話があり、アンケートでも参考にしたいと好評でしたので、今回参加できなかった皆様に共有したいと思います。

- ① 子どもの疑問にしっかり向き合う
- ② 本や図鑑、新聞、ガイドブックなど様々なものを用意しておく
- ③ 子どもが興味を持った場所へ出かける
- ④ 外遊びと自然と触れ合えるものを用意する
- ⑤ 大人が遊びや学びを楽しむ姿を見せる
- ⑥ 多くの人の価値観に触れる経験をさせる
- ⑦ 知的好奇心を育てるような玩具や教材に触れる

ぜひ、この7つを参考にお子さまの知的好奇心を高めてみてくださいね。日常の「なぜ?」「どうして?」と一緒にワクワクすることが、一番の近道かもしれません。送迎時などの際に、ご家庭での素敵なエピソードを共有できたら